

■ 注連縄、凧作り

(1) ねらい

- 日本の伝統的な行事を重んじ、自らの手で注連縄や凧を作ることで伝統文化を受け継ぐ意欲や態度を培う。
- 地域の方々や三世代の交流を通して、郷土を愛する心や、地域の一員としての自覚を育む。



(2) 活動内容

○ 注連縄作り

- ・ 日時・・・12月21日(水) 13:30～15:00
- ・ 場所・・・野島漁村センター
- ・ 参加者・・・野島小中学校児童生徒10名、野島小中学校教員8名
野島地域老人会および地域の方々、野島小・中学校保護者
- ・ 指導者・・・深海 盈様、吉永 茂様
- ・ 活動内容・・・指導者に教えていただきながら、藁から注連縄や輪飾り作りに挑戦した。
地域のお年寄りの方々にも教えてもらい、語らいながら楽しく作った。
最後に、地域の方々が作ってくださったぜんざいをみんなで食べながら、お互いの作品を鑑賞した。

○ 凧作り

- ・ 日時・・・11月30日(水)、12月15日(木) 5・6校時 凧作り
1月18日(水) 5・6校時 防火凧揚げ大会
- ・ 場所・・・野島つぐみ浜、野島漁村センター
- ・ 参加者・・・野島小・中学校児童生徒
野島小・中学校教員
野島地区消防団員
野島地域住民
防府市消防本部職員



・ 活動内容

竹や和紙を材料にして、一人ひとりが独自の和凧を作る。凧には防火の意識を高める言葉や絵を描く。地域の方や消防団の方に見守られて空高く凧揚げをする。